

大嘗祭の米収穫 瑞浪市の斎田で祭祀



供納する米を収穫する関係者ら＝瑞浪市大湫町

天皇陛下の皇位継承に伴う重要祭祀「大嘗祭」で使う米を収穫する祭祀が4日、瑞浪市大湫町の田んぼであった。刈り取って精米した米のうち1・5キを宮内庁へ送る。

大嘗祭には、47都道府県で収穫された米が供えられる。岐阜県の耕作者には、JA全農岐阜の推薦で大湫機械化営農組合(瑞浪市)の代表理事安田次美さん(79)が選ばれた。同組合は大湫地域の約50㌥の田んぼを斎田として選定し、5月21日に田植えの祭祀を執り行い、コシヒカリを丹精込

めて育ててきた。

この日は、安田さんら関係者6人が鎌を手を持ち、黄金色になった稲穂を根元から丁寧に刈り取った。安田さんは「大変な名誉。作柄もよく、おいしいお米を送ることができてうれしい」と喜んだ。

11月14、15日に皇居で催される大嘗祭では、陛下が収穫された米を神々に供え、自らも食べ、国の安寧や五穀豊穰を祈られる。

(三輪真大)